

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月14日

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

上場取引所 大

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp>代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) マリア・M・M・コラーレス
兼最高執行責任者(COO)問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニストレーション (氏名) 北川 徹 TEL 03-5412-7481
統括オフィサー

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	23,348	—	1,226	—	1,253	—	626	—
20年3月期第1四半期	21,770	16.4	1,996	54.0	1,973	49.8	1,032	56.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	439.64	435.56
20年3月期第1四半期	726.05	717.38

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	40,134	27,761	69.2	19,489.86
20年3月期	42,960	27,171	63.2	19,079.55

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 27,761百万円 20年3月期 27,171百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	300.00	300.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	300.00	300.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	48,000	—	3,650	—	3,750	—	1,900	—	1,334.17
通期	99,000	9.1	7,100	5.8	7,200	4.4	3,650	2.8	2,563.00

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 1,424,417株 20年3月期 1,424,111株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 1,424,289株 20年3月期第1四半期 1,421,722株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、原油・原材料価格の高騰等の影響により、企業収益や民間設備投資の伸びが鈍化するとともに、食料品等の価格上昇の影響を受けて個人消費も伸び悩む等、総じて景気の先行きに対する懸念が増大しております。また、当社が属するスペシャルティ コーヒー市場におきましても、出店立地や商品開発における厳しい競争が続いております。このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当第1四半期会計期間に販売した主な商品として、ビバレッジでは、挽きたてのコーヒーの深いコクと香りをジェリーとしてお楽しみいただける「コーヒー ジェリー フラペチーノ®」や、甘さを抑えたリッチなチョコレートの風味が特徴の「ダーク モカ フラペチーノ®」等を販売し、好調に推移しました。フードでは、洋梨とレーズン、胡桃をたっぷりを使用したボリューム感のある「洋梨のバイクドケーキ」や、チーズとレモンの程よい酸味が特徴の「チーズフレ」等がご好評いただきました。

一方、店舗展開においては、引き続き、出店立地の選別を強化しつつ店舗展開の多様化を推進し、15店舗の新規出店（うちライセンス3店舗）を行った結果、当第1四半期会計期間末における店舗数は791店舗（うちライセンス25店舗）となりました。

以上のような活動の結果、売上高は23,348百万円（前年同期比7.2%増）となりました。既存店売上高対前年同期比は、客単価がプラスとなったものの、取引件数が伸び悩んだことにより、96.8%にとどまりましたが、継続的な新規出店により全体では増収となりました。

月別の既存店売上高対前年同月比は以下のとおりです。

月	4月	5月	6月	第1四半期累計
既存店売上高対前年同月比	97.3%	97.9%	95.4%	96.8%
既存店取引件数対前年同月比	95.9%	97.3%	94.0%	95.6%
既存店客単価対前年同月比	101.4%	100.6%	101.5%	101.2%

売上総利益は16,357百万円（同4.4%増）、売上総利益率は70.1%（同1.9ポイント減）となりました。商品の売上構成比の変化並びに前年度後半以降の原材料価格の上昇等の影響により、売上総利益率は前年値を下回りました。

営業利益は1,226百万円（同38.6%減）、経常利益は1,253百万円（同36.5%減）となりました。引き続きコスト管理の徹底と業務効率化による経費節減に努めましたが、既存店売上高対前年同期比がマイナスとなったこと等により、販売費及び一般管理費率は64.8%（同2.0ポイント増）となりました。

四半期純利益は626百万円（同39.3%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて2,826百万円減少して40,134百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて3,282百万円減少いたしました。これは主に店舗増加に伴う設備投資や借入金返済のため、現金及び預金が1,996百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて456百万円増加いたしました。これは主に店舗の新規出店や改修のための投資により有形固定資産が149百万円、差入保証金が296百万円増加したことによるものです。

流動負債、固定負債は、前事業年度末に比べて3,416百万円減少いたしました。これは、主に法人税等の支払、長期借入金の返済等によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて2,995百万円減少し、2,053百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、146百万円（前年同期比832百万円減）となりました。これは、主に法人税等の増加があったものの、税引前四半期純利益や減価償却費の増加によるものです。

投資活動による資金の減少は、1,983百万円（同736百万円増）となりました。これは、主に新規出店、既存店の改修を主目的とする有形固定資産の取得による支出1,464百万円、保証金の差入による支出362百万円によるものです。

財務活動による資金の減少は、1,159百万円（同678百万円増）となりました。これは、主に長期借入金の返済と配当金の支払によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

① 税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、月次総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,053,949	4,050,767
売掛金	2,919,086	3,081,041
有価証券	—	999,095
商品	1,895,921	1,830,206
その他	2,917,664	3,109,567
貸倒引当金	△22,562	△23,745
流動資産合計	9,764,059	13,046,932
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,451,302	8,426,546
その他（純額）	3,846,456	3,721,505
有形固定資産合計	12,297,759	12,148,052
無形固定資産	1,242,963	1,230,587
投資その他の資産		
差入保証金	15,493,159	15,196,512
その他	1,416,549	1,417,205
貸倒引当金	△80,467	△78,832
投資その他の資産合計	16,829,241	16,534,884
固定資産合計	30,369,963	29,913,524
資産合計	40,134,023	42,960,456
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,072,086	2,270,831
1年内返済予定の長期借入金	1,376,000	2,176,000
未払法人税等	704,496	1,803,862
賞与引当金	89,535	—
その他	7,236,524	8,067,138
流動負債合計	11,478,641	14,317,831
固定負債		
長期借入金	664,000	664,000
役員退職慰労引当金	15,979	269,081
その他	213,714	538,152
固定負債合計	893,694	1,471,233
負債合計	12,372,335	15,789,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,359,951	8,356,414
資本剰余金	10,935,011	10,931,474
利益剰余金	8,589,528	8,390,585
株主資本合計	27,884,492	27,678,474
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△122,804	△507,083
評価・換算差額等合計	△122,804	△507,083
純資産合計	27,761,687	27,171,390
負債純資産合計	40,134,023	42,960,456

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	23,348,647
売上原価	6,990,959
売上総利益	16,357,687
販売費及び一般管理費	15,130,726
営業利益	1,226,960
営業外収益	
受取利息	3,103
プリペイドカード失効益	28,841
その他	12,053
営業外収益合計	43,998
営業外費用	
支払利息	8,648
為替差損	8,850
その他	410
営業外費用合計	17,909
経常利益	1,253,049
特別損失	
減損損失	52,688
固定資産除却損	12,253
特別損失合計	64,942
税引前四半期純利益	1,188,107
法人税等	561,931
四半期純利益	626,176

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,188,107
減価償却費	793,488
減損損失	52,688
引当金の増減額 (△は減少)	△163,115
受取利息及び受取配当金	△3,103
支払利息	8,648
為替差損益 (△は益)	134
有形固定資産除却損	12,253
売上債権の増減額 (△は増加)	161,954
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△65,715
仕入債務の増減額 (△は減少)	△198,745
その他	△40,848
小計	1,745,747
利息及び配当金の受取額	3,103
利息の支払額	△6,603
法人税等の支払額	△1,595,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,464,411
無形固定資産の取得による支出	△211,709
差入保証金の差入による支出	△362,084
差入保証金の回収による収入	60,537
その他	△5,517
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,983,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△800,000
株式の発行による収入	7,075
配当金の支払額	△366,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,159,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,995,913
現金及び現金同等物の期首残高	5,049,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,053,949

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 生産、受注及び販売の状況

販売実績

当事業年度の販売実績を品目別に示すと次のとおりであります。

品目	当第1四半期会計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		
	売上高(千円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	17,054,197	73.0	104.7
ペストリー	3,886,502	16.6	110.3
コーヒー豆	887,014	3.8	106.9
コーヒー器具等	1,065,307	4.6	117.8
店舗販売計	22,893,021	98.0	106.3
その他	455,626	2.0	197.1
合計	23,348,647	100.0	107.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	21,770
II 売上原価	6,096
売上総利益	15,674
III 販売費及び一般管理費	13,677
営業利益	1,996
IV 営業外収益	47
V 営業外費用	70
経常利益	1,973
VI 特別損失	116
税引前四半期純利益	1,856
税金費用	824
四半期純利益	1,032

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,856
減価償却費	655
売上債権の減少額	36
たな卸資産の増加額	△560
仕入債務の減少額	△24
未払金の減少額	△29
その他	618
小計	2,552
法人税等の支払額	△1,566
その他	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	979
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,533
無形固定資産の取得による支出	△17
保証金等の差入による支出	△238
その他	542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,246
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△200
その他	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△480
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の減少額	△747
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,669
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,921